

## 入場方法

### 入場無料

うみコンのご入場には、事前申込みをお願いいたします。  
お申込みはこちらから。[<http://umi-con.com>]  
※シンポジウム、ビジネスマッチングイベントに  
つきましては、定員がございますので注意下さい。



## 会場フロアMAP



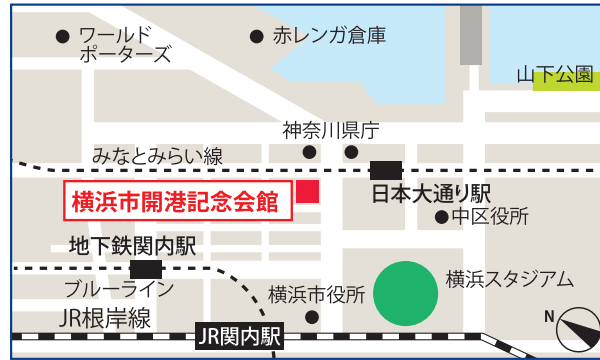
## 同時開催

### D 第8回ブルーカーボン・シンポジウムin横浜

場所:9号室

「海洋」を舞台とした温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン」の取組事例等を紹介しします。

## 交通アクセス



横浜市中区本町1-6

- JR京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から徒歩10分
- 市営地下鉄線「関内駅」1番出口から徒歩10分
- みなとみらい線「日本大通り駅」1番出口から徒歩1分

## 出展者一覧

IHI/宇津木計器/海洋研究開発機構<JAMSTEC>/  
関東地方整備局/キュー・アイ/SIX VOICE/  
水産研究・教育機構/スコットランド国際開発庁/セア・プラス/戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)革新的深海資源調査技術/東亜建設工業/東京大学生産技術研究所/ドコモCS/トリマティス/日揮グループ/古河電気工業/古河産業/マリン・ワーク・ジャパン/横河電機/横浜企業経営支援財団(IDEC横浜)/横浜国立大学/理研電具製造/和歌山工業高等専門学校/横浜市など(順不同)

主催:海洋都市横浜うみ協議会/横浜市/海と産業革新コンベンション実行委員会

協議会・実行委員会の構成企業・団体:海洋研究開発機構<JAMSTEC>/水産研究・教育機構/海上・港湾・航空技術研究所(海上技術安全研究所、港湾空港技術研究所)/海技教育機構<JMBTS>/帆船日本丸記念財団/東京海洋大学<TUMSAT>/東京大学生産技術研究所/横浜国立大学/横浜国立大学/神奈川大学/エンジニアリング協会/海洋産業研究会/日本船用工業会/日本プロジェクト産業協議会<JPIC>/次世代センサ協議会/横浜港振興協会/IHI/神奈川新聞社/千代田化工建設/東亜建設工業/日揮ホールディングス/日鉄物産/日本政策投資銀行/横浜港埠頭/横浜八景島/日本郵船/三菱重工業/古河電気工業/ジャパン マリンユナイテッド/五洋建設/オーシャンバイラル/セア・プラス/内閣府総合海洋政策推進事務局/国土交通省関東地方整備局/国土交通省関東運輸局/横浜市(順不同)  
協賛:セア・プラス/マリン・ワーク・ジャパン/横河電機  
協力:横浜企業経営支援財団(IDEC横浜)

お問い合わせ:うみコン実行委員会事務局 Tel. 045-663-9151




うみコン 2020

# 海と産業革新 コンベンション

Ocean&Business Innovation Convention

横浜発! 対話と交流による新たな海洋産業の創出

詳しいプログラムは  検索   
<http://umi-con.com>

日時 令和2年 **1.29** [wed]  
10:00-17:00

場所 横浜市開港記念会館

入場  
無料

# INVITATION



## うみコンとは

最新の技術や情報を共有・融合し、海洋産業の振興・活性化につなげるため、研究やビジネスに携わる人が、一堂に会する場を目指し産官学の連携組織「海洋都市横浜うみ協議会」を中心に開催するコンベンションです。3回目となる今回は、会場を「横浜市開港記念会館」に変更し、シンポジウムを中心に、企業等からのパネル展示、さらにはビジネスマッチングイベントを開催します。

さまざまな関係者との交流やビジネスのきっかけ作りにも、ぜひご来場ください。



プログラムは追加・変更になる場合があります。講演タイトル、講師・発表者、スケジュールなどの最新情報はHPでご確認ください。

**A シンポジウム** 定員400名

● 基調講演 | 10:30~ ● 3国研シンポジウム | 14:00~

海洋に関する政策・研究・技術開発などの今後の展望について、キーパーソンが登壇します。

講堂

我が国の海洋政策について(仮) 内閣府総合海洋政策推進事務局長 平垣内 久隆 氏  
 日本における洋上風力発電の役割 一般社団法人日本風力発電協会 代表理事 加藤 仁 氏  
 海上技術安全研究所における洋上風力発電への取組み 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 研究特命主管 黒岩 隆夫 氏

**3国研シンポジウム**

海洋分野において**我が国を代表する3つの国立研究開発法人**から、ビジネスの種となる最新の研究内容の発表を行います。また、講演後は、講演者と直接意見交換ができるエクステンジミーティングを行います。

[コーディネーター] 横浜国立大学統合的海洋管理学研究拠点長 中村 由行 氏

海中ロボティクス(仮) 海洋研究開発機構 研究プラットフォーム運用開発部門 次長 永橋 賢司 氏  
 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 海洋先端技術系 水中ロボティクス研究グループ 研究員 佐藤 匠 氏

船舶に関する最新技術の紹介(仮) 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 流体設計系 流体制御研究グループ 主任研究員 一ノ瀬 康雄 氏  
 水産研究・教育機構 水産工学研究所 漁業生産工学部 部長 高尾 芳三 氏

水産海洋センシングとAIによる漁場・海況予測(仮) 水産研究・教育機構 東北水産研究所 資源環境部 部長 栗田 豊 氏  
 海洋研究開発機構 地球環境部門 特任技術副主任 田中 裕介 氏

3国研のご紹介



海洋研究開発機構



海上・港湾・航空  
技術研究所



水産研究・  
教育機構

**B ビジネスマッチングイベント** 定員80名

● 企業・団体からの発表 | 13:00~ ● 個別相談会 | 15:30~

出展企業等とのマッチングの場を提供し、新たな海洋産業の創出につながるイベントを行います。事前登録時に発表企業・団体との個別相談会の面談予約ができます。

6・7  
号室

IHIの海洋事業への取り組みと技術展望 IHI  
 水中音響測位システム-小型水中ドローンのための新技術 SIX VOICE

自律型小型電動無人観測艇による自動深浅測量に向けてI  
 セア・プラス

革新的深海資源調査技術について 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)革新的深海資源調査技術  
 海洋環境の見える化「ICTソリューション」ドコモCS

新たな海洋市場創出を試みる水中光無線技術のご紹介 トリマティス

持続可能な海利用における地域社会との調和を目指した環境技術 マリン・ワーク・ジャパン

風力発電設備等における診断機能の研究開発(仮) 横河電機

自然エネルギーだけで吸水性/脱水性が入れ替わる高分子材料 横浜市立大学:本多 尚氏

海の創業「マリン ドラッグス」と糖鎖・レクチン 横浜市立大学:大関 泰裕氏

**C パネル展示**

● ポスターセッション | 12:00~13:00 / 16:00~17:00

研究成果や技術開発を紹介したパネルを展示します。来場者と直接コミュニケーションがとれるように、ポスターセッションの時間を設定します。

1号室

展示タイトル/団体名	
海流発電システム実用化に向けた取り組み IHI	水域・陸域における3次元計測の現状 セア・プラス
船舶・海洋構造物のモニタリング・制御システム 宇津木計器	深海資源探査技術開発への取り組み 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)革新的深海資源調査技術
JAMSTECスパコンの産業利用 海洋研究開発機構	大水深における無人化施工を可能とする 水中作業ロボット技術 東亜建設工業
風と流れのプラットフォーム 海洋研究開発機構	海中観測実装工学研究の展開 東京大学生産技術研究所
高視野角カメラとヘッドマウントディスプレイを用いた 深海映像のリアルタイムモニタ 海洋研究開発機構	海洋環境の見える化「ICTソリューション」 ドコモCS
マリンデータと海洋データ連携 海洋研究開発機構	新たな海洋市場創出を試みる 水中光無線技術のご紹介 トリマティス
海洋ロボティクス開発に必要な要素技術を国産でI 海洋研究開発機構	Floating LNGの建造状況 日揮グループ
高速水中音響通信装置の量産化と展開 海洋研究開発機構	レーザーパイプの取り組み/ドローンによる水中インフラ点検 古河電気工業/古河産業
環境問題待ったなし環境計測技術を国産でII 海洋研究開発機構	持続可能な資源利用を目指した 海洋・地球観測技術の提案 マリン・ワーク・ジャパン
JAMSTEC賛助会 海洋研究開発機構	風力発電設備等における診断機能の研究開発(仮) 横河電機
壁面調査機搭載水中ドローン ステレオカメラによる魚自動測定 キュー・アイ	横浜企業経営支援財団(IDEC横浜)の取組について 横浜企業経営支援財団
関東地方整備局の取り組み 国土交通省関東地方整備局	自然エネルギーだけで吸水性/脱水性が入れ替わる 高分子材料 横浜市立大学:本多 尚氏
水中協働ロボット-進化を続ける産業用水中ドローン SIX VOICE	海の創業「マリン ドラッグス」と糖鎖・レクチン 横浜市立大学:大関 泰裕氏
水産研究・教育機構の施設配置と船舶 水産研究・教育機構	HYDROグループ 水中コネクタ・水中ケーブルのご紹介 理研電具製造
SH“U”N(しゅん)プロジェクト 水産研究・教育機構	紀伊半島における海洋研究の取り組み 和歌山工業高等専門学校
ブルーエコノミーとエネルギーランジション スコットランド国際開発庁	横浜市の各種取組について 横浜市